

## 日本語学会 第146回大会報告

吉岡 乾 (AA研/日本学術振興会特別研究員)  
noboru7y@hotmail.com

### 1. 概要

- 🕒 2013年6月15日(土)・16日(日)
- 📍 茨城大学 水戸キャンパス (水戸市文京)  
⇒次回は、2013年11月23日(土)・24日(日)、神戸市外国語大学
- 📄 口頭発表56件(採択率77.8%)・ポスター発表4件(全100.0%)・WS2件(全100.0%)
- 👤 院生：なし 先生：風間・長屋 AA研：なし

### 2. ブガエワ・アンナ「父は並ぶものがない長者だった」ーアイヌ語における関係節を用いた最上級表現ー

#### 🔍 主旨 🔍

アイヌ語は後置詞を残留させた関係節化構造で最上級を表現する珍しい言語。

(1)  $a_1=ona_2[pak-no_3 \textit{nispa}_4 \textit{isam}_5] \textit{nispa}_6 \textit{ne}_7$ .

1単=父 まで 長者 いない 長者 COP

lit.「私の<sub>1</sub>父は<sub>2</sub> [(その人) までの<sub>3</sub>長者が<sub>4</sub>いない<sub>5</sub>] 長者<sub>6</sub>である<sub>7</sub>。」

・後置詞の残留 [stranding postpositions] とは？

\_/\_/\_/\_/ 報告者補足 \_/\_/\_/\_/

・関係節化の種類

i. Relative pronoun strategy : 英語に見られる

e.g. *I bought a horse from the man*

*The man [from whom I bought a horse]* lit. 「私が REL から馬を買った男」

ii. Pronoun strategy : ペルシア語 (周辺項) に見られる

e.g. *asb az mard xarīd-am*

馬 から 男 買う:PST-1SG

*mard-ī [ke asb az ū xarīdam]* lit. 「私が 彼 から馬を買った男」

男-LINK COMP から 彼

iii. Non-reduction strategy : ヒンディー・ウルドゥー語に見られる

e.g. *māi nē mard sē ghōrā xarīd-ā*

私 ERG 男 から 牡馬 買う-PST.M.SG

*[māi nē jis mard sē ghōrā xarīd-ā] us/vō mard*

REL:OBL 男 から その:OBL/ABS 男

lit. 「私が REL の男から馬を買ったその男」

iv. Gap strategy : 日本語、アイヌ語に見られる

e.g. 私が男から馬を買った

[私が Ø 馬を買った] 男

////////////////////

(1)' *a=ona [\_\_\_\_\_ pak-no nispa isam] nispa ne.*

1 単=父 Ø まで 長者 いない 長者 COP

lit. 「私の父は [Ø<sub>i</sub>までの長者<sub>j</sub>がいない] 長者<sub>i</sub>である。」

- ・関係節化で NP がゼロになっているが、後置詞 *pak-no* が残留している
- ・後置詞を用いる周辺項で見られる（中核項は無標識）
- ・日本語ではできない
- ・「[A ほどの B がいない] A である」という最上級表現
- ・総称名詞：*kur* 「男」、*pe* 「もの」など；特徴描写付きの一般名詞 *katkemat* 「良い女性」、*nispa* 「長者、賢人」など
- ・特定がそう高くなければ、修飾も可能

(2) [*pak [sermaka yupke] p isam] pe e=ne*

まで 守護神 強い もの いない もの 2SG.A=COP

「お前ほど守護神の強い者はいない」

lit. 「お前は [\_\_<sub>i</sub>まで [\_\_<sub>j</sub>の守護神が強い] 者<sub>j</sub>のいない] 者<sub>i</sub>である」

- ・A と B は必ずしも同じでなくてもよい：「それほどの長者のいない男である」
- ・主節主語と残存後置詞との隣接競合の回避が必要（スライドでは省略）
- ・アイヌ語は SV/AOV
- ・コピュラ文 AOV<sub>COP</sub> の O が関係節で修飾されると、A-[RC]-O-V<sub>COP</sub> となる
- ・今扱ってる後置詞残存 RC は[(NP) *pak-no* NP *isam*] ([ (NP) までの NP がいない])
- ・素直に当て嵌めるとこうなる ⇒ A[*pak-no* NP *isam*]OV<sub>COP</sub>
- ・「A までの NP がいない O である」と読めてしまう

- ・解決方法が幾つか
  - ・ A 省略
  - ・ A と *pak-no* との間に副詞を挿入する
  - ・ A を主題化し、主題化標識を A の後ろに入れる
  - ・ 語順を入れ替えて  $OAV_{COP}$  に：焦点化？
  - ・ 分裂文（主題化しつつ語順も替える）

~~~~~ 報告者註 ~~~~~

そもその(1)も、隣接競合に引っ掛かっている。

*a=ona* の後に休止か副詞かを入れないと駄目だと、質疑応答中に口頭でも説明があった。

~~~~~

- ・ **主張**：アイヌ語は動詞に主語・目的語を明示するし、周辺の要素が推定を補足してもらえるので、**gap strategy** でも、構造が充分理解できる。
- ・ 後置詞残留という珍しい現象を使った最上級表現はそうした土壌から発達した

※会場コメント

Q. まだ関係節なのか？ それとも最上級構造として独り立ちしているのか？

A. まだ関係節

Q. *pak* ~ *pak-no* の違いは？ 文法化の途上だから揺れがある？

A. 違いは解らない

Q. Gapped NP だけで関係節構造が復元できないから、これは関係節と考えられない

### 3. 梅谷博之「モンゴル語における preverb と動詞との間の結合度」

🔸 主旨 🔸

「preverb+動詞」構造は句構成よりは強く、複合よりは弱く結び付いている。

- ・ モンゴル語ハルハ方言には 49 の **preverb** がある
  - ・ **preverb**：屈折しない形式群の一種で、単独では現れず、動詞の直前に出る
  - ・ 意味的にも或る程度まとまっている
    - ・ 動作が急激に行われること
    - ・ 動作対象に大きな力が加わること
    - ・ 動作対象に大きな変化が生じること など

- (3) *Dorž šilen-d gar-aa xaga züs-čix-sen.*  
 PN.NOM ガラス-DAT 手-REFL 割れた.PREV 切る-COMP-VN.PST  
 「ドルジはガラスで手を切り割ってしまった」

- ・ preverb+動詞の結び付きはどれくらい強いのかな？
  - ・ 動詞句的な結び付きくらい？ : 各要素は語、全体では2語
  - ・ 複合語的な結び付きくらい？ : 各要素は語の一部、全体で1語

表1：判断基準

	動詞句	複合語
i. 自立語が間に入れる	○	×
ii. 全体に派生接辞を付けられない	○	×
iii. 小辞が間に入れる	○	×
iv. 構造の一部だけを重複できる	○	×

- i. 自立語が間に入れるか  
 ・ 副詞の位置を変えてみる

- (4) a. *Ene namg-ijg neg mösön zad dajr-aad xöndlön gar-’ya.*  
 この 沼-ACC 一気に 開いた.PREV 襲う-CVB.PFV 横に 渡る-TV.VOL  
 「この沼を（来るまで）一気にざぱっと突き進んで横切ろう」  
 b. \**Ene namg-ijg zad neg mösön dajr-aad xöndlön gar-’ya.*

- ・ 入れませんでした

- ii. 全体に派生接辞を付けられないか

- (5) a. [*xarz temc*]-een      b. [*nevt gereltüüle*]-g  
 [対峙して.PREV 競う]-NDS      [貫いて.PREV 光を当てる]-NDS  
 「対決」      「投射」

- ・ 付けられました

- iii. 小辞が間に入れるか

- (6) *Daisn-uud-aa but ǀ nirge-x xeregtej.*  
 敵-PL-REFL      PREV FP 破壊する-VN.NP 必要だ  
 「敵どもを（単に攻撃するのではなく）打ちのめす必要がある」

- ・ 入れました

iv. 構造の一部だけを重複できるか

- (7) a. *Naad emterxij ajaga-a xaga coxi-od xaja-čix(-Ø) aa.*  
 その 欠けた 碗-REFL 割れた.PREV 叩く -CVB.PFV 捨てる -COMP(-TV.IMP) MP  
 「その欠けたお碗を叩き割って捨てなさい」
- b. *Naad emterxij ajaga-uud-aa xaga xaga coxi-od xaja-čix aa.*  
 碗-PL-REFL 割れた.PREV 割れた.PREV  
 「それらの欠けたお碗を叩き割って捨てなさい」

・できました

//////// 報告者コメント //////////

iv.は構造的に別なのではないか。

発表者も脚注で、preverb が重複すると動詞との間に副詞が入っても OK になるから、  
 [RDP [PREV V]] ではなく [[RDP PREV] V] 構造ではないかと述べている。

そうだと思う。

//////////

表 2：判断結果

	動詞句	prev+V	複合語
i. 自立語が間に入れる	○	×	×
ii. 全体に派生接辞を付けられない	○	×	×
iii. 小辞が間に入れる	○	○	×
iv. 構造の一部だけを重複できる	○	○	×

・主張：中間的です

・どう扱うべきか

- (結合度がやや弱い側面があるものの) 複合語と認める
- (結合度が強い側面があるものの) 句として認める
- 複合語でも句でもない、新たなカテゴリに属するものとして分類する
- 或る特定のカテゴリに分類することは不可能であるとして、保留する

・扱いを摸索するために、似たような状況に置かれている別の現象を検証して行く必要性がある

・例えば、名詞+自動詞：gar「手」+xür-「至る」⇒「触れる」

- (8) a. *Či ene juman-d gar xür-sen üü?* 「あんた、これに触った？」  
 2SG.NOM この 物-DAT 手 至る-VN.PST Q
- b. *\*Či ene gar juman-d xür-sen üü?*  
 2SG.NOM この 手 物-DAT 至る-VN.PST Q

- ・自立語は間に入れないけど

(9) *Bi gar l xür-sen.* 「私は触っただけだ (落として割ってはいない)」  
1SG.NOM 手 FP 至る-VN.PST

- ・小辞は間に入れる

※会場コメント

Q. 副詞とは違うのか？

A. モンゴル語の副詞は格を取れるけど、preverb は格を取れない

Q. 中国語の結果構文っぽい？

A. 必ずしもそうとも言えない面もある